

心の栄養剤No151-1「人生の金メダルを目指して」

1984年のロサンゼルスオリンピックで優勝した時、小学校の同級生が祝賀会を開いてくれてこんな表彰状をもらいました。

「表彰状 山下泰裕殿。あなたは・・・教室で暴れたり仲間をいじめたり、我々同級生に多大なる迷惑をかけました。しかし今回のオリンピックにおいては我々同級生の期待に応え、不慮のケガにもかかわらず持ち前の力を発揮して見事に金メダルを獲得しました。このことは**あなたの小学校時代の数々の悪行を清算しても余りあるものであり、我々同級生は心から誇りにするものであります。よってここに表彰し・・・最大の敬意を払うと共に、永遠の友情を約束するものであります**」

私はオリンピックの金メダルも、国民栄誉賞の賞状やたくさんのトロフィーも何一つ飾っていません。ただこの同級生がくれた表彰状だけは、私の書斎に大事に飾っています。

小学校時代の私はとんでもない暴れん坊でした。両親は「この子は将来、人様から後ろ指を指されるようになるのでは」と、かなり心配したようです。

そんな時、退職された警察官の方が近所に柔道場を開きました。そこでお袋は「柔道をすれば人様に迷惑をかけない人間になるのでは」と、私をその道場に連れていったのです。

小学1年生の時、私はすでに6年生ほどの体格でした。走ってもクラスで一番。球技もうまくて、ケンカも大好きでした。柔道はそんな私にぴったりで、私のあり余る闘争心を満たしてくれました。

中学校では、9年間無敗の記録を持つ名門柔道部に入りました。顧問の白石先生はいつも文武両道の話をしていました。

「稽古に励めば丈夫な体、たくましい精神力、人を思いやる心が身につく。それを社会に生かすため、勉強も同じくらい頑張りなさい」と。

また先生は、「実るほど頭を垂れる稲穂かな」の言葉を引用しながらこう言われました。

「強くないたいと思えば、まず素直な心を持ちなさい。親や先生の話をも素直に聞ける人間になること。これが一番大事だよ」と。

普通だったら「やらされてやるんじゃなく、自分から進んで稽古しろ」とか「しっかり目標を持って」とか「人の二倍、三倍稽古せよ」とか言われますよね。でも先生は**「強くなるには素直な心が一番大事」**と言われたのです。

さらに先生は、「これはスポーツだけでなく、人生全般に通用する話だ。『一流』とか、『本物』と言われる人物はみな、素直な心、謙虚な心を持っておられる」と言われました。

オリンピックで優勝し、国民栄誉賞までいただいた私は、普通では会えないような一流の方や「本物」と言われる方たちと、これまでたくさんお会いしてきました。

すると先生がおっしゃるように、どの方も威圧感がなく、誰に対しても態度が変わらないし、誰からでも何かを吸収しようという心構えが感じられました。

中学生くらいだと、ちょっと強くなると「俺は強いんだ」といわんばかりに威張り歩く部員もいます。先生はいつも、「そんな選手は二流、三流だ。強くなればなるほど優しくなれ。それがさらに強くなるコツだ」と私たちに言っていました。

柔道の強さと人間としての強さは違うのです。**もっと優しさがあふれる、そんな人間を目指したいと私は思います。それが本当の人間の強さだと思っています。**

ロサンゼルスオリンピック柔道金メダリスト 山下 泰裕

ちょうど先月は平昌オリンピック！！

毎日毎日～テレビにしがみつiki手に汗握り～目をウルウルさせながらの感動の日々を送ることが出来ました！

我が日本代表選手も過去最高のメダル数獲得する事となり、本当に良かったのですが…

個人的には他のあらゆるスポーツ観戦でも、その選手選手の素晴らしいパフォーマンス～成績より以上に選手の試合までの～メダル獲得までのプロセス～努力～そして試合後の感謝溢れるコメントに心打たれ感動させられます。

『優しさ溢れる人間こそが、本当の人間の強さ』

真実だと思います～私も真の人間の強さ(優しさ)を目指します！



「季節の話No3 ひな祭りの由来」

もともと日本では紙などで作った人形に災いを肩代わりしてもらい、それを川に流すという習わしがありました。それと、中国から伝わった厄払いの儀式が合わさって、まずは人形を使った行事へと発展していきます。その後、平安時代の宮中で「紙人形遊び」が流行。(ひな遊びと言われていたそうです)

今でいうリカちゃん人形遊びですね！今の子供、リカちゃんで遊ぶんだらうか？まあ、置いといて人形は川に流すものではなく手元に置いておくものになっていきました。そしてひな遊びをしていたのが女の子ということで、いつしか女の子の無病息災と、プラス良縁の意味を込めてひな人形を飾るという習慣に変化していったのです。

ひな飾りやお祝いのごちそうのあの雅な感じは平安時代の貴族から伝わったものだったんですね！！

<ひな人形を早く片付けなければいけない理由>

ひな人形を早く片付けないと「お嫁に行き遅れる」とよく言われていますね！その理由は、ひな人形が婚礼の様子を表していることに関係します。婚礼の儀式を「早く片付ける」ということは、**娘が早くいい人を見つけてお嫁に行くという意味に通じます。なのでひな人形はすぐに片付けてしまったほうが縁起が良いのです！！**私の母も、3月3日が終わると速攻でひな人形を片付けていました！

「ひな祭り」の由来についてまとめると・・・

- ・中国から伝わった厄除けの儀式に日本独自のアレンジを加えたものである
- ・平安時代の貴族の女の子が遊んだ人形遊びがひな人形の原型
- ・ひな人形に厄の身代わりになってもらう、無病息災の願いを込めた行事
- ・女の子の良縁を願う行事



ということですね！！